

OS サポート切れのサーバーを 使われてませんか？ クラウドサーバーを活用した 解決方法とは…



今回はサポートが切れたサーバー OS を使われている方へ、クラウドサーバーを活用した解決方法をご紹介します。また、サーバー管理に手を焼いているサーバー管理者の方のために、簡単に導入可能なクラウドサーバーのサービスをご紹介します。

あなたの会社はサーバー管理を1人でできていないでしょうか。サーバー管理を1人するには業務内容が多く、責任重大なお仕事です。理由は3つあります。

- ①複数台あるサーバーの保守期間を管理しなければならない
- ②業務への影響度に応じて、復旧のために夜間や休日に会社に駆け付けなければならない
- ③古い業務システムのリプレースに時間を割けず、故障リスクを抱えながら保守が終了したサーバーを管理しなければならない。

サーバー管理者の方は、日々重大な責任を負って業務にあたっていることが分かっていただけたと思います。

では、どうすればサーバー管理者の方の負担を減らすことができるのでしょうか…。それはクラウドサーバーを利用し、煩雑なサーバー管理をアウトソーシングすることです。以下の図はクラウドサーバーを活用した課題解決の例となります。サポートが終了した Windows Server 2008 / 2008 R2 等のサーバーをクラウドサーバーへ丸ごと移行することで、業務システムを暫く延命させることが可能です。

オンプレサーバー



サポート切れ OS
Windows Server 2008
／ 2008 R2 等

- ・ OS のサポートが終了し、OS 刷新と併せてサーバのリプレースが必要
- ・ OS 刷新のための開発コスト、工数を直ぐには割けない
- ・ 機器の保守も終了し、故障によるシステム停止の懸念



クラウドサーバー



Hyper-V で OS の動作をサポート
Windows Server 2008
／ 2008 R2 等

- ・ クラウドだから機器保守の心配が要らない
- ・ OS の動作がサポートされた Hyper-V 環境で運用できる
- ・ オンプレ環境からそのまま移行可能なので手間がかからない



「P2V」で 丸ごと移行

※Hyper-V がサポートするゲスト OS は、2021 年 3 月現在の情報となります。
※Windows Server 2008/2008 R2 は、クラウドサーバーへの移行後もマイクロソフトによる各種パッチは適用されません。

弊社からご紹介するクラウドサーバーのサービスは BizGr@nd(ビズグラン ド) です。クラウドサーバーの有名どころである AWS や GCP と違い、構築から運用まで幅広くサポートしていることが特徴です。

上記の解決事例の様に古い OS の延命だけでなく、新規にサーバーを構築する際に、例えばこんな用途でクラウドサーバーを使いたいけれどスペックがどれだけ必要かわからないという場合、弊社の豊富な導入実績から、適切なスペック選びのサポートをさせていただきます。

クラウドサーバーの物理サーバーは標準で冗長化されておりますので、故障による停止リスクが低減され、ハードウェアの保守更新も気にする必要はございません。サーバー管理に取られていた時間を削減することで、お客様の事業拡大に時間を充てることができます。

クラウドサーバーや BizGr@nd に興味を持っていただけた方は、次ページの資料に、BizGr@nd のご紹介とご導入後のお客様の声を掲載しております。

<https://www.dsk-idc.jp>

BizGr@nd

ビズグランド

月額 9,400円～ で
専用サーバーが手に入ります！
(1仮想CPU、メモリ2GB、HDD40GB)

無償デモ環境提供中！

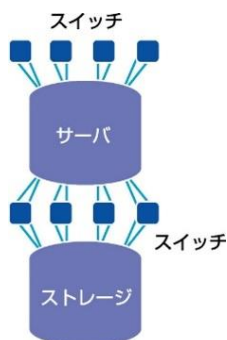
企業向けホスティングサービス

BizGr@ndでは、仮想化技術を採用し、低価格でプライベートクラウド型の仮想サーバー環境を実現しました。他社で採用の多いリソース共用型の環境とは異なり、仮想マシンの最適な配置により、十分なパフォーマンスを確保します。さらにBizGr@ndでは、標準OSとして「WindowsServer」「Red Hat Enterprise Linux」「Cent OS」をご利用可能です。

ご利用の4つのポイント

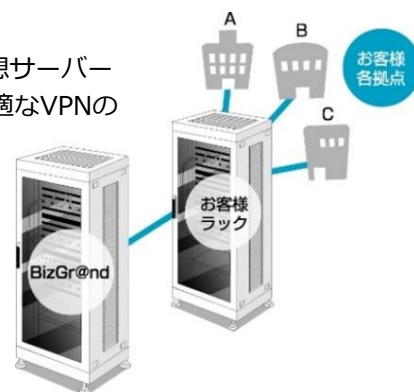
1 完全冗長化

BizGr@ndの仮想サーバー1台で、最大限に冗長化されたシステムを利用可能。物理サーバーはN+1構成、万一の障害時にホットスタンバイの物理サーバーにてお客様仮想マシンを動作可。またLiveMigrationにより、メンテナンス作業を行う物理サーバーから、お客様仮想マシンを停止することなく移動させることができ、安全にメンテナンスを行えます。



2 ハイブリッドクラウド対応

BizGr@ndによる仮想サーバー環境は、お客様に最適なVPNのご利用、ハウジング環境との併用、ルータ持込みも可能です。



3 セキュリティ万全のデータセンター

東濃と大垣に耐災害性と高い免震性を備えた24時間365日体制の自社国産データセンターを完備。メインサイトとしてはもちろん、BCP・DRサイトとしても最適なロケーションです。免震設備は震度7クラスにも対応。ご利用データセンターはモジュール型とビル型の選択可能です。



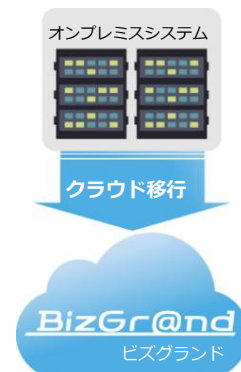
DSK東濃IDC



DSK大垣IDC

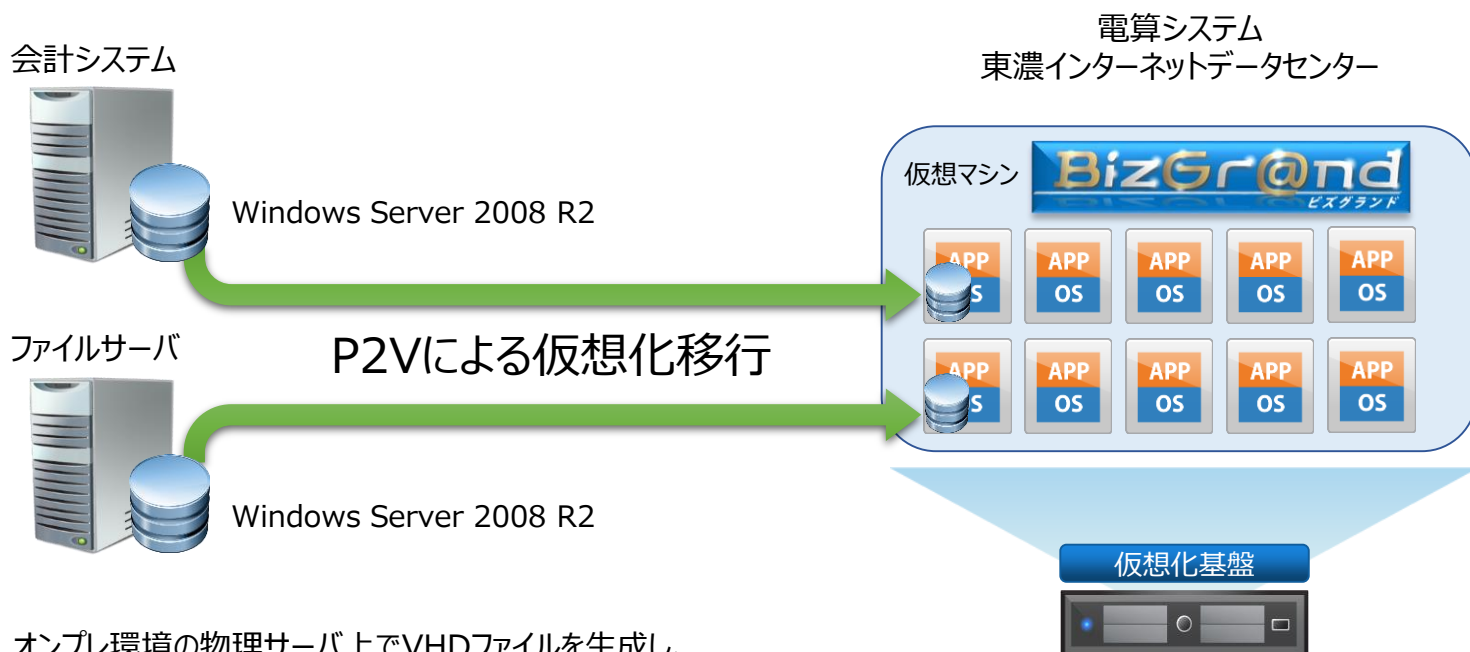
4 オンプレミスからまるごと移行

オンプレミスでのシステムリプレースの課題を解決します。P2VによりOSを含め、システムをまるごとBizGr@ndへ移行する事でレガシーシステムの延命にもご活用いただけます。



活用事例

◆会計システム及びファイルサーバのP2V移行事例



オンプレ環境の物理サーバ上でVHDファイルを生成し、
弊社データセンターへ配送します。
仮想化基盤に接続して、VHDファイルからゲストOS上にシステムを展開します。

料金表 ※1

	項目	単位	初期	月額
仮想マシン	仮想プロセッサ	1VP・最大8VP	0 円	3,000 円
	メモリ	1GB・最大16GB	0 円	2,000 円
	HDD	1GB ・提供は10GB単位 ・最大2TB	0 円	60 円
	仮想マシン作成		15,000 円	—
	仮想マシン変更		5,000 円	—
ゲストOS	Windows Server		0 円	3,000 円
	Red Hat Enterprise Linux		0 円	3,000 円
	Cent OS		0 円	0 円

※1 … 導入するシステムによって、個別見積もりとなります。

※ 料金表示はすべて税別価格です。
※ カタログに記載された内容及び製品の仕様は、予告なく変更することがあります。
※ 本カタログ中の社名、商品名は各社の商標または登録商標です

DSK 株式会社 電算システム



<https://dsk-idc.com/info/>

E-mail : idc-info@densan-s.co.jp

名古屋支社 〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番1号十六銀行名古屋ビル12階
TEL 052-961-3690 IDC担当
岐阜本社 〒501-6196 岐阜県岐阜市日置江1丁目58番地
TEL 058-279-3481 IDC担当

お問い合わせは